

久志本准教授を囲んで



東京ジャーミニーを見学



本学はキリスト教カトリック系大学だが、イスラーム地域研究所を擁する国内有数のイスラーム研究拠点であり同地域からの留学生も在籍している。S.S.I.C (Sophia Student Integration Commons) では、有志の学生の企画をもとに、知識や文化を知る機会を作ろうと初めて「イスラームウィーク」を開催した。総合グローバル学

イスラームウィーク

学生有志の企画が実現

部、イスラーム地域研究所が後援。イスラームへの心理的距離を縮める催しとなった。

4月25日のイフタール(ラマダン断食明けの食事)パーティを皮切りに、5月17日から21日の間、多岐にわたるイベントが行われた。最初の2日間はイラン、レバノンとフランス合作の映画2作品を上映。市井の女性たちにスポットを当て、男女格差が表象としてよく読み取れる作品であり、映画を通してイスラーム社会の多様性を認識した。3日目は東南アジアのイスラーム社会を知

る久志本裕子総合グローバル学部准教授への質問会、4日目は刺繍制作でシリア人避難民女性の収入の道を開く「イブラ・ワ・ハイト」代表の山崎やよい氏による講演会を開催し、対話を通してイスラームへの理解を深めた。最終日は日本最大のモスク、東京ジャーミニーツアーが実施された。

この間、東京ハラルデリ&カフェのコラボラティブメニューが限定販売され、連日完売となった。

企画を行った学生有志代表の羽田慶広さん(総務4)は「イスラームウィークは学生有志による企画イベント。教職員協力のもと、広報や運営面で学生が主体となって実施した意義は大きい。多

1号館前に新たに建設が進められている広場の名称が「S-TERRASSE」に決定した。S.S.I.C」に決定した。も

1号館広場の名称「S-TERRASSE」に決定

新たな憩いの場として9月完成



「S-TERRASSE」完成イメージ

「S」はSophia, Sustain ability, ShareのSの頭文字で、それぞれ、「上智の新たなランドマークになるように」「SDGsに対する意識が浸透するように」「コロナ禍で減った学生間の交流が少しでも活性化するように」との思いを込めた。

佐藤さんは、応募にあたって「今後上智がどうなっていくかを考える機会となった」としつつ、世界的に『SDGs』という言葉が注目されているが、他の人が取り組むから私も取り組むという姿勢ではなく、17の目標とその背景にある問題への理解と、個人として具体的に何ができるかを考えていきたい」と話している。

グローバル教育センターでは、6月27日から7月4日までの間、留学フェアを開催する。海外渡航はまだ制限されている状況だが、本学で定めた条件を満たし、許可を得られた場合には、渡航を伴う留学が可能となっている。先を見据えて在学中の留学を考える学生

に、大学の留学制度を分かりやすく紹介する。期間中は6号館1階でポスター展示を行う他、2階の教室で昼休みの時間に日替わりのセッションを実施する。週前半のセッションでは、留学制度説明や留学準備、また日々変わる世界情勢の渡航留学への影響や、大学の留学制度を利用した学生の体験談、留学と就職活動についてハイフレックス形式で発信する。後半は留学制度を活用した学生と直接話すことができ、Zoom情報など詳細はLoyola掲示板で公開予定。問い合わせは2号館1階グローバル教育センターへ。

留学フェアセッションスケジュール(予定)

日程	時間	内容	実施形態
6/27(月)	①12:45 - 13:05	副学長・センター長挨拶	ハイフレックス
	②13:05 - 13:20	留学制度概要説明・留学に関する情報案内	
6/28(火)	①12:45 - 13:05	留学カウンセラー、英語学習アドバイザーによる「留学に関するFAQと留学準備」	ハイフレックス
	②13:05 - 13:20	渡航留学における世界情勢変化の影響	
6/29(水)	①12:45 - 13:05	交換留学経験学生による体験談	ハイフレックス
	②13:05 - 13:20	短期プログラム経験学生による体験談	
6/30(木)	12:45 - 13:20	留学経験者との座談会①	対面
7/4(月)	12:45 - 13:20	留学経験者との座談会②	対面

※最新のスケジュール・会場等はLoyola掲示板に掲載予定

第63回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会(上南戦)が7月1日から3日にかけて開催される。同じカトリック大

コロナを乗り越え3年ぶり

第63回上南戦

7月1日~3日南山大学で開催



実行委員長の直井慧真さん

▼今年のスローガンは「Revive to Thrive」(蘇る、再び流行る、そして繁栄する)です。2年連続開催中止になった影響で、伝統ある上南戦を知る在校生が少なく、なっていました。今年大会で上南戦を蘇らせ、未来につなげられるようにと考えています。

▼3年ぶりに開催するにあたっての苦労や工夫した点はありますか

第63回上南戦タイムスケジュール(試合時間)

場所	7月1日	7月2日	7月3日
6月4日	弓道場	弓道場	弓道場
6月5日	弓道場	弓道場	弓道場
6月10日	競技カントリークラブ*	ゴルフ	ゴルフ
6月11日	プール	水泳	水泳
6月12日	プール	水泳	水泳
7月1日	体育館	バドミントン	バドミントン
7月1日	大塚スケートリンク*	アイスホッケー	アイスホッケー
7月1日	源市市民公園*	硬式野球	硬式野球
7月2日	体育館	バレー女子	バレー男子
7月2日	メインアリーナ	バドミントン	バドミントン
7月2日	柔道場	柔道	柔道
7月2日	剣道場	剣道	剣道
7月2日	テニスコート西	軟式野球男子	軟式野球男子
7月2日	テニスコート北	硬式野球男子	硬式野球男子
7月2日	グラウンド	ラグビー男子	ラグビー男子
7月2日	陸上競技場	陸上	陸上
7月2日	日本ガイシホール	洋弓男子	洋弓男子
7月2日	源市市民公園*	野球	野球
7月3日	体育館	バレー女子	バレー男子
7月3日	卓球場	卓球男子	卓球男子
7月3日	卓球場	卓球女子	卓球女子
7月3日	グラウンド	サッカー	サッカー
7月3日	テニスコート西	硬式野球女子	硬式野球女子

実行委員会のチーフ委員(執行部)は皆3年生ですが、入学したときから上南戦が中止になり、どのような大会なのか分からない状況で準備を進めなければなりません。

「しかし、この困難を乗り越えるため団結し、積極的に動くこと決まりました。例えば、過去の大会について卒業生から話を聞く、資料を調べ、分らないことはLINEグループで共有し、皆で知恵を出し合います。また、文化系団体の交流プログラム「Johan Meets」を7月2日に行います。体育会、文化系団体共に盛り上げていきますので、応援よろしくお願ひします。

詳細は上南戦ウェブサイト参照。

生理用ナプキン無料提供 「OiTr」の運用開始

四谷キャンパスで5月から



生理に伴う心身および経済的負担軽減の施策の一環として、四谷キャンパスでは、2022年5月より生理用ナプキンを無料で提供するサービス「OiTr(オイトール)」を導入した。

OiTrは、専用アプリを入れたスマートフォンをディスプレイにかき、外活動団体 Gender Equality for Sophia (GES) が実施したアンケートを参考に設置場所を決定するなど、学生と協働して進めてきた。GESのカギさん(経営3)は、「生理のある学生が快適な学生生活を送ることができるようになることはもちろん、誰もが安心して利用できるサービスを提供したい」と話している。

本学では、昨年7月に導入にあたっては、課外活動団体 Gender Equality for Sophia (GES) を挙げてさまざまな活動を推進している。OiTrの導入は、SDGsの「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等」の各項目に対応する取り組みとなる。